

緑 GO GREEN でいこう

地球ひとつで生きる



Interview



イスラエルのガザ攻撃から、 国際社会の 構造的矛盾を探る

室蘭工業大学大学院教授
RAWA (アフガニスタン女性革命協会) と
連帯する会 共同代表
キヨスエ アイ サ
清末 愛砂さん

1972 年生まれ。23 年前からパレスチナ問題に関わり、度々現地に赴く。
憲法前文にある「平和的生存権」を、パレスチナを含めて全世界で実現す
るための活動に注力している。

ハマスらがイスラエルへの奇襲攻撃を開始した 2023 年 10 月 7 日以降、イスラエルは自衛の名のもとにガザを猛攻。民族浄化
と言うべき惨状が続いています。その中であって憲法前文の「平
和的生存権」を軸にパレスチナ問題に取り組む清末愛砂さんは、
国際社会の構造的矛盾に言及。「停戦後」を含めたパレスチナ和
平のあるべき姿について冷静に分析し、日本の市民
が取り組むべき課題やスタンスについて、憲法学者
ならではの問いかけをしてくださいました。



もっと詳しく 12,000 字超記事はこちらから



清末 日本国憲法の前文にある「平和的生存権」のポ
イントは、「全世界の国民」を対象としていることです。
その意味において、日本政府の対応は、憲法の精神に
即していないと
言わざるを得
ません。逆にい
えば、今回の問
題は日本国民
が「平和的生存
権」について考
えていく機会で
もありません。日
本国憲法を有
する我々にとつ
て、ガザは決し
て対岸の火事では
ないのです。

— 憲法学者の立場で主張されている「平和的生存権」
の観点ではどうでしょうか？
清末 「日本国憲法の前文にある「平和的生存権」のポ
イントは、「全世界の国民」を対象としていることです。
その意味において、日本政府の対応は、憲法の精神に
即していないと
言わざるを得
ません。逆にい
えば、今回の問
題は日本国民
が「平和的生存
権」について考
えていく機会で
もありません。日
本国憲法を有
する我々にとつ
て、ガザは決し
て対岸の火事では
ないのです。

— 欧米寄りにシフトしてきている日本のスタンスに
ついては、どのように捉えていますか？
清末 日本政府は昨年11月の外相会談で「イスラエル
国民との連帯」を表明するなど、親米的なスタンスに
シフトしてきました。そのことを象徴しているのが、
一時的ではありましたが「国連パレスチナ難民救済事
業機関 (UNRWA)」への資金供与の停止措置です。
一歩譲って意図がなかったとしても、結果的にガザの
人たちの生命線を切り、「飢餓を武力化する」ことに
加担したわけです。このように結果を予想できるのに、
実際にそうなることもかまわないと思つて行為に移すこ
とを、法律の世界では「未必の故意」と言います。

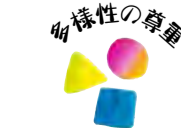
— まずはイスラエルのガザ攻撃の現状を、どのよう
に分析されていますか？
清末 10月7日に起こったハマスの攻撃による「反撃的
越境攻撃」は、実は突如として始まったわけではなく、
国際社会が打開策を見い出せない、イスラエルによる
「終わりのない支配」が続いていたことの延長線上に
あると考えています。「イスラエルが大規模な攻撃に
打つて出て、これまで以上の犠牲者が出るであろう」
ということ、「自衛という名のもとに正当化するであ
ろう」ということ、そして「イスラエルの思惑通りの
国際世論が形成されるであろう」ということは、私を
含めてパレスチナ問題に関わってきた人の多くが懸念
し、予想していたことです。さらなる懸念として、私
はジェノサイドの可能性を強く疑っています。

— 日本政府の対応は「未必の故意」
市民にとつても対岸の火事ではない
— 市民の動きについては、どう感じていますか？
清末 LGBTQ+ や差別、ハラスメントの問題など、
日本社会におけるさまざまな矛盾に抗ってきた人たちが
が、イシューを超えてガザへの攻撃に真つ向から声を
あげていることには深く共感しています。そういつた
人たちの多くが、「加害者意識」に基づいて、構造的な
矛盾の「環」として捉えているからです。その意味では、
従来の平和運動とは一線を画しているような気がして
います。

— 「法」に基づく公平性をスタンダードに
「停戦」以上に大切な停戦後の在り様
— 「法」の鍵を握る国際法が遵守されていない
状況は、どのように考えればよいのでしょうか？
清末 「法」よりも「政治」の力が勝っているからです。
しかし、公平性を担保していくには、やはり「法の支配」
に基づく考え方がスタンダードであるべきです。「国際
法は無力」という人もいますが、国際法がいまの状況
を認めているわけではありません。ただし、「法の支配」
を高めていくには、レイシズムや植民地支配のハード
ルを越える必要があります。レイシズムのもとに、パ
レスチナ人たちは「法の支配」の外に置かれているの
が現状だからです。

— 目指すべきゴールは「停戦」ではなく、公平性
に基づいた平和ということですね。
清末 差し当たっては「停戦」を求めていかなければ
なりません。その後も「封鎖」が続くのであれば、「停戦」
は意味をなしません。最終的なゴールは、「封鎖」を解
除し、イスラエルのパレスチナ占領を最終させるとい
うことに他なりません。その解決策として模索されてい
るのが「二国解決」ですが、
私は1993年の「オス
ロ合意」がその障壁になっ
ていると考えています。
「オスロ合意」がイスラエ
ルを利用するロジックとし
て利用され、パレスチナ
人たちが抑圧されてきた
のは明白であるからです。

インタビュー
杉原 浩司
緑の党グリーンズジャパン東京
都本部共同代表
1965 年生まれ。緑の党で脱
原発・社会運動担当を務める。
また、市民団体「武器取引反対
ネットワーク」代表として、武
器輸出に反対する活動にも注力
している。





■能登半島地震で破綻した原発避難計画

1月1日に能登半島地震が発生し、石川県の志賀原発も被害を受け、半島一帯は家屋の倒壊・道路の寸断で多くの集落が孤立しました。皆さんも認識されている通り、原発避難計画が文字通り「机上の空論」に過ぎないことが、この地震であらためて明確になりました。

■柏崎刈羽原発再稼働へ向け重大局面

今回の地震は新潟県にも被害をもたらしましたが、新潟は3.11福島原発事故を起こした東京電力が管理する柏崎刈羽原発を抱えています。その安全性などに関して県が設置した独自の「三つの検証」は、昨年春、知事によって強引に幕引きされ、約2年半前に



発覚した核防護対策等の不備を理由に発令されていた事実上の運転禁止命令も昨年末に解除され、原発再稼働に向けた障壁が次々取り除かれてきました。

しかし、今回の能登半島地

震を受け、多くの県民が「再稼働などすぐにはできない」と考えていました。

ところが、柏崎市・刈羽村の議会は経済団体から出された再稼働推進の陳情を可決し、そしてそれを待っていたかのように、政府も県・柏崎市・刈羽村に対して再稼働への「地元同意」を要請しました。今回の地震で判明した多くの課題の検証や、被災者の生活再建や地域の復旧の見通しもまったく立たないまま放置し、原発再稼働の手続きを優先するものです。さらに4月中旬、東電は7号機の燃料を装荷し、事態は重大な局面を迎えています。



■慎重・反発の県民世論高まる

これらの動きに対しては、さすがに自民党県議団も猛反発し、世論調査では半数以上の県民が再稼働に反対しています。特に立地以外の自治体首長の多くが、再稼働に慎重な立場を明らかにし、東電に対して

厳しい姿勢を示しています。

また、池内了・元検証総括委員長や他の元検証委員、市民などが集まって「市民検証委員会」を発足させ、広い県民議論を起こすべく活動を重ね、県内各地でさまざまな市民団体の活動も活発化しています。私も一連の活動に参加しながら、国会議員事務所を通じた原子力規制庁へのヒアリングなどにも関わっています。

また、超党派の県内自治体議員で構成される「UPZ議員研究会」(会長は自民党市議)は「再稼働の同意要請には少なくともUPZ圏自治体の関与が必要」との趣旨で声明を公表し、経産省にも申し入れすることにしています。

■新潟の取り組みに注目・支援を

新潟の緑の仲間もこの運動の中で積極的に関わって奮闘しています。新潟の取り組みにもぜひご注目ください。また、「市民検証委員会」へのカンパもぜひお願いします!(振込先:郵便振替 00500-6-96752 「いのちとふるさとの会」)

中山均(共同代表・新潟市議)

GREENS JAPAN ACTION

2024年2月から4月の活動報告をお知らせいたします。

詳しく知る



民主主義ユースフェスティバル2024に出展

3月23日(土)・24(日)の2日間にわたり、東京都世田谷区の駒沢オリンピック公園にて開催された上記イベントに出展。各政党や政治団体、市民団体等がブースを出展し、カジュアルに語り合える北欧の「選挙小屋」を模したイベントです。その名の通り、参加者の半分くらいは若い人たちで、活発な雰囲気になっていました。

緑の党ブースでは、ニュースレターやチラシなどを配布し、手作りヴィーガンクッキーも販売しました。ブースには気候変動に危機感を抱く若者たちをはじめ、他党の方や緑とは異なるスタンスの方々も来訪。地球温暖化、エネルギー、環境アクション、大阪万博、選挙制度など、さまざまなテーマについて、それぞれの意見を尊重しながら楽しくおしゃべり!!

このような政治に対するカジュアルさ、親しみやすさを持てる場が日本社会にもっと広がってほしいと思いました。

山本洋輔(運営委員・東京都立川市議)



STOP! 地球沸騰化 COOL EARTH ACTION 2024

12万年ぶりの記録的高温となった2023年……。グテーレス国連事務総長が「地球沸騰化」、気候学者が「今後も温暖化は進む」と警鐘を鳴らす中で、「STOP! 地球沸騰化」のアクションを繰り広げました。

今年は「第7次エネルギー基本計画」の改定が予定されていますが、日本の気候変動政策はパリ協定の「1.5℃目標」に全く整合しておらず不十分です。そこで緑の党は、「化石燃料ゼロ」「原発ゼロ」「再エネ3倍」「日本の役割と責任を果たす途上国支援」を掲げ、政府や自治体に、より効果的な気候危機対策を求める「STOP! 地球沸騰化 COOL EARTH ACTION 2024」を展開しました。

ホッキョクグマのシロベエを名誉実行委員長に、国や各自治体への申入れを実施。また、全国17か所で街頭宣伝を行い、市民の声で日本政府を変えようと呼び掛けました。

松本なみほ(運営委員・兵庫県本部共同代表)



STOP! 地球沸騰化 特設ページ



主な声明 2024年3月~5月

- ◆ 国際女性デーにあたり~政治・企業へのクォータ制導入により、ジェンダーギャップ解消を急げ~ (3/8)
- ◆ 13年目の「3.11」-進行する危機を前に、脱原発と社会の転換への決意を新たにします (3/10)
- ◆ 離婚後共同親権法案-立ち止まって議論を (4/22)
- ◆ 日本国憲法施行から77年-平和と憲法、民主主義を脅かす深刻な危機の中で、「緑の政治」の実現を- (5/3)

詳しく知る



= 新しい共同代表の紹介 =

世界の仲間と連携して、エコでピースでフェアな未来創造に取り組みます。2024年2月総会で選出



緑を深めよう 冊子の紹介

第5回 GG大会 in 韓国 報告集
2023年6月に世界84カ国から約1,000名が参加して韓国・仁川で開催されたGG大会の記録。気候危機対策、コロナ禍で問われた経済、ウクライナ侵略を踏まえた平和の再構築など、議論と交流を深めた4日を凝縮。(一部500円:ご注文は緑の党まで)

世界のみどり GLOBAL GREENS

緑の党は世界100以上の国や地域で活動し、グローバル・グリーンズ(GG)というネットワークをつくっています。

2月 アジア太平洋緑の党連盟(APGF)がパレスチナの人々とその国土への連帯を表明し、日本政府にイスラエルへの支援を止めるように要請

2/15 1月立法院選挙に立候補した初のトランスジェンダー候補・台湾緑の党のウー氏来日

3/8 国際女性デーの同日、アジア太平洋女性ネットワーク(APGWN)がパレスチナへの声明を発表。パレスチナ支援のための人道的行動を呼びかけた。

3/15 欧州・緑の党がEU首脳に対して、ガザにおける人命の尊重に向けて、即時停戦を呼びかけるよう要請

3/27 APGWN主催の処理汚染水の海洋放出問題のウェビナーで、尾形慶子(共同代表)が報告

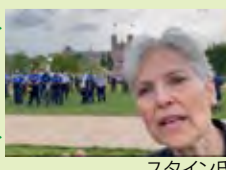
4/17 クロアチア議会選挙で、緑の党が10議席を獲得し躍進

4/30 11月米国大統領選に立候補予定の緑の党・スタイン氏が、ワシントン大学内でボーイングの軍需品製造に抗議。約100人の学生とともに逮捕される。

5/2 英国地方選挙で緑の党が4割増しの議席を獲得



クロアチア議会選挙



スタイン氏

自治体選挙・衆議院補欠選挙

2/4	京都府京都市長選	福山和人	新	非	支援	残念
4/14	埼玉県坂戸市議選	平瀬敬久	現	非	推薦	残念
4/14	静岡県御前崎市議選	福田伸次	新	会	推薦	当選
4/14	広島県三次市議選	徳岡真紀	現	サ	推薦	当選
4/21	東京都目黒区長選	西崎つばさ	新	非	支持	残念
4/28	衆議院補選(東京15区)	酒井なつみ	新	非	支援	当選

新:新人 現:現職 / 会:会員 サ:サポーター 非:非会員

緑の党 https://greens.gr.jp
グリーンズジャパン E-Mail greens@greens.gr.jp

〒165-0026
東京都中野区新井2-7-10サンファスト301
TEL 03-5364-9010 FAX 03-3389-0636

会員・サポーター募集しています

カンパにご協力をお願いします

城南信用金庫 高円寺支店(店番号036) 普通預金
口座番号:340392 名称:緑の党グリーンズジャパン

郵便口座 ゆうちょ銀行
口座番号:00100-9-262967 名称:緑の党
他金融機関からのお振り込みの場合 当座預金
店名:〇一九(ゼロイチキュー) 口座番号:262967